



新着図書 ～阿波高校図書館に入った本を紹介します～

総記	リサーチのはじめかた	トーマス S.マラーニー // 著
	ギネス世界記録 2024	クレイグ グレンディ // 編
	ユニバーサル・ミュージアムへのいざない	広瀬 浩二郎 // 著
哲学	訂正する力	東 浩紀 // 著
社会科学	実験の民主主義	宇野 重規 // 著
	ルールはそもそもなんのためにあるのか	住吉 雅美 // 著
	子ども兵士	アムネスティ国際日本
	開かれた学校づくりの実践と研究	浦野 東洋一 // 編
	校則に言いたい!	日本共産党@校則問題プロジェクトチーム
	高校入試に英語スピーキングテスト?	大津 由紀雄 // 編
	国語の成績は観察力で必ず伸びる	久松 由理 // 著
	食卓の世界史	遠藤 雅司 // 著
自然科学	安楽死が合法の国で起きていること	児玉 真美 // 著
言語科学	言語哲学がはじまる	野矢 茂樹 // 著
文学 読み物	親密な手紙	大江 健三郎 // 著
	ようこそ実力至上主義の教室へ 2年生編 10	衣笠 彰梧 // 著
進路	国連で働く	植木 安弘 // 編著
	心理学部	橋口 佐紀子 // 著
	現代用語の基礎知識 2024	自由国民社 // 編集
	文藝春秋オピニオン 2024年の論点 100	
	高校生就職面接の受け方答え方 '25年版	成美堂出版編集部 // 編著
	図解でわかる時事重要テーマ 100 2024-2025	日経 HR 編集部 // 編著

○特集「進路を考えてみませんか？」

mini図書館(2F渡り廊下)で仕事関係の本、大学選びに関する本を特集しています。貸出しも行っています。

○「マンガ選挙」結果速報!

1位「ハイキュー!!」、2位「呪術廻戦」、3位「進撃の巨人」となりました。以上3作品は購入予定です。結果の詳細は図書室カウンターに掲示しています。

○図書委員さんのオススメ!

『生きてさえいれば』小坂 流加/著

この本は大好きな叔母・春桜が宛名も書かずに大切に手元に置いてある手紙を見つけた甥の千景が病室を出られない春桜の代わりに手紙を届けることで春桜の青春の日々を知るという物語です。純粋な思いを貫こうとするふたりの奇跡のラブストーリーとなっています。この本には春桜、夏芽、秋葉、冬月というキャラクターがあり、それぞれの名前に春夏秋冬の文字のひとつが入っています。私の好きな文章は「生きていれば。恋だって始められる。生きていれば。“ほんとうの幸”をみつける旅が続けられる。季節を明日も巡りながら。春、夏、秋、冬、絶え間なく流れる幾千の景色の中で。」という文章です。生きることの大切さや生きていたらどんな良いことが起こるかなど、いろいろなことを考えさせられました。ラブストーリーが好きという人も、今まであまり読まなかった人にもオススメです。ぜひ読んでみてください。

『どうか、彼女が死にますように』喜友名 トト/著

10代の女子が恋愛をしたいと思うときや、感動する物語の本が読みたい人におすすめできる小説です。ある少年が「笑うと死ぬ」病気をもっている少女の「笑いたい」という願いをかなえるために、笑わそうとする物語です。自分が今まで読んだ恋愛小説の中で一番心にぐっときた内容でした。読み始めは「そんなことはありえない」、「絶対この後、こういう展開になる」と思いながら読んでいましたが、全く異なり、自分が予想していた場面よりも遙か上をいき、とても感動し面白いと思いました。また、生きることの大切さを語っているような小説だと思いました。ぜひ読んでみてください。

図書館からの風景 ～司書の独り言～

「読書記録10年目」

手帳サイズのノートに読んだ本のタイトルと著者、読了日の3つだけという簡単なものですが、読書記録をつけ始めて早10年。備忘録のつもりで始めましたが見返してみると、本の内容だけでなく、当時の出来事なんかも一緒に思い出されてなかなか面白いものです。(若い頃から記録しておけば良かったと思います。)中にはタイトル以外思い出せない本もありますが、間違いなく今の自分を形作る要素の一つになったと思われる本がいくつかあります。人生を変えてみたくて本を読むわけではありませんが、読んだ本が自分にほんのちょっと影響を与えて、その影響を受けた自分が本を選び、またちょっと影響を受ける。それを繰り返すことが、「読書が人生を変える」ってことだと思います。

さあ、今年も面白い本に巡り会えますように!

